

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

授業科目名	履修時期	単位数	授業時数	授業形態	担当教員名	実務経験の内容	実務経験を活かした教育内容
理学療法概論Ⅱ	2年次	2単位	60	講義 実技	吉田 敏朗	理学療法士としての臨床経験 20年、専任教員 17年、臨床経験:リハビリ専門病院・回復期リハ病棟・急性期一般病棟勤務	バイオメカニクスの基本的知識に基づいた、専門的な知識の理解を講義し、実践的な基本動作の介助や指導方法を体験・理解するための実技演習を実施する。
物理療法Ⅱ	1年次	1単位	30	講義 実技	古瀬正志	理学療法士としての臨床経験 29年 病院および老人保健施設での回復期・生活期リハ実施(医療・介護保険サービス(外来リハ、訪問リハ、通所リハ)、介護認定審査員(宮崎東諸県圏域) 介護支援専門員(施設内)、宮崎県県北地域リハビリテーション広域支援センター業務実施と総括、宮崎市住宅改修審査委員	物理療法を施行するにあたって、理学療法士はその中心となる必要があることを明示し、一方、現在の臨床において多用されている電気刺激療法の実際を提示することで、より実践的な講義内容とする
臨床理学療法Ⅱ	2年次	3単位	90	講義 実技	長友典子	理学療法士としての臨床経験9年(急性期、回復期、維持期(外来、通所リハビリ、訪問リハビリ)) 認定理学療法士(運動器)、宮崎県体育協会公認アスレティックトレーナー、日本障がい者スポーツ協会公認、中級障がい者スポーツ指導員	基礎的な解剖・運動・生理学との繋がりを理解し、運動器疾患・脊髄損傷・(パーキンソン病等)の変性疾患の各疾患に対して実際に臨床で実施される評価や理学療法などの演習も行う
臨床理学療法学Ⅲ	2年次	3単位	90	講義 実技	馬場義行	理学療法士としての臨床経験 9年(集中治療室、急性期、回復期、維持期) 認定理学療法士(呼吸)、呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士	基本的な解剖生理学や理学療法の習得だけでなく、臨床で実際に用いられる評価法や呼吸理学療法などの実技演習も行う。
理学療法評価法Ⅲ	2年次	3単位	90	講義 実技	村野信之	理学療法士としての臨床経験 14年 (ICU・SCU・急性期・回復期・維持期)	基本的知識に基づいた、専門的な知識の理解を講義し、機能障害に対する検査・測定方法を、実技や臨床で演習を実施する。講義の中や他の科目にて学習した理学療法評価における、統合と解釈を講義し、模擬患者による事例検討を実施する。
計		12単位	360時間				